

申3号「電気部門の変革2022」に関する申し入れ団体交渉②

3 項 在来線の効率的なメンテナンス体制の確立によってメンテナンスセンター化する郡山電力技術センターの業務内容について、仙台電力技術センターに統合する業務内容及び郡山メンテナンスセンターへ残す業務内容を具体的に示すこと。

(組) 業務内容の中で具体的にどのように変わる部分が実際あるのか。

(会) 企画科については、一部郡山メンテナンスセンター企画科のほうで福島単契とか郡山の単契とかそういったところもあるので、一部予算なども配布をしながら行ってもらうようなことも考えている。また、部外対応とか立ち会いとかもあるので、そういったところ福島県内については郡山メンテナンスセンターで対応していただくようになる。

(会) 電路設計科については、いままでP社へ郡山は郡山、仙台は仙台で出していたものが同じ1社であれば同じような工事であれば1件で出すので、その中で福島県内の設備調査とか一部設計の下資料作りとかそういったのを担ってもらうことになる。福島県内の工事については、郡山メンテナンスセンターの電路設計科のほうで行ってもらうことを考えている。

(会) 電路技術科と電路保全科を郡山は統合して電路保全科一本にしようかと考えている。今そこは考案中である。業務内容としては、電路保全科というのは、今の郡山メンテナンスセンターの在来Gの業務になる。電路技術科の業務というのは、福島メンテナンスセンターと郡山メンテナンスセンターの単契とか停電調整とか線閉調整とかその辺の業務をそのまま行っていただくか考えている。あと工事監督業務というのは、技セとメセで業務の被る部分があると思うので、そういったところを統合して電路保全科にしていきたいと考えているところである。

(会) 福島メセについては、他のメンテナンスセンターと同じ並びではあるが、郡山は少し大きなメンテナンスセンターではあるので、今まで通り福島は同じ県内でもあるので、郡山の電路保全科とやり取りをメインにしてみようかと考えている。

(組) その場合、システムの関係も今権限が強かったりするんで、通常メセだと他のメセのものができなったりするのが、その辺りの権限とか移行のスケジュールとかはぜひ早急に対応していただきたい。

4 項 新たに整備する現業事務所は現場の意見を十分に取り入れ、休養室については個室化すること。

(組) そこで働く社員の意見を取り入れて、そこで働く人が働きやすい環境に行ってもらいたい。特に郡山電力技術センターについては現状男性のロッカー室が、女性社員もいるが、何も区切りがなくて、そういった現状の問題点みたいなところも改善していただきたい。

(会) 今次年度へ向けてロッカー室を今のCADがあるほうへ作る予定。雨具とかも置けるように。なので、今安全靴とかを置いているロッカーとかもそっちへ移動するようなことで今考えている。順次建築のほうでも扉となると開け閉めの部分になるので、もしくはパーティションのようなものをまず置いて、今後間内改良とかも合わせながらそういったロッカー室の整備もやっていければと思う。